

維新の風やまず

茨木市長選、推薦候補が圧勝



任期満了に伴う大阪府茨木市長選が8日投票結果、橋下徹・大阪市長が率いる「大阪維新の会」(維新)支部などが推薦した無所属新人の元茨木市議、木本保平氏(67)が、民主や共産の支援を受けた元同市議の桂睦子氏(43)ら無所属3新人を退け、初当選を果たした。投票率は36・45%(前回無投票)だった。

茨木市長選で初当選を果たし、バンザイして喜ぶ木本保平氏(中央)―8日夜、大阪府茨木市

今回、維新は木本氏が副支部長を務めるいはらき支部の推薦にとどめ、橋下市長は応援に入らなかった

が、木本氏は3万2千票余りを獲得、次点の桂氏に7千票以上の差をつけた。大阪府内では、昨年4月の吹田市長選や8月の守口市長選で維新の公認・推薦候補が連勝。

11月の知事・大阪市長のダブル選でも知事を辞して戦った橋下氏ら公認候補が

松井知事「水道事業統合でも刺客擁立」

大阪維新の会支部の推薦候補が当選した大阪府茨木市長選について、維新幹事長の松井一郎知事は9日、記者団に対し、「私たちが府民と約束したことを、スピード感を持って実現して

きたことが評価されたのだと思う」と話した。また今後の府内市町村の首長選について、候補者の政策が維新と異なる場合、維新本部として候補者を擁立することも示唆。府内の

水道事業統合をめぐる、大阪市の「大阪広域水道企業団」への加入に反発している首長の例を挙げ、「反対する首長に対して候補者を擁立するのは府民全体の利益に資する」と語った。

圧勝するなど、維新の「破竹の勢い」が続いていた。投票から一夜明けた9日朝、木本氏は同市のJR茨木駅前などで市民に当選を報告。事務所では笑顔をみせながらも、「維新に対する市民の期待は制度改革。スピード感を持って改革に着手したい」と、表情

を引き締めた。木本氏は自民党の市議だったが、昨年4月の府議選茨木市選挙区で維新公認候補を支援したとして、自民府連から除名されていた。しかし、今回の市長選で、自民市議は木本氏を支援。みんなの党府第9区支部も推薦していた。

維新首長選負けなし

茨木市長選 支部推薦の木本氏当選

無所属新人4人が争った大阪府茨木市長選は8日に投票開票され、地域政党「大阪維新の会」いはらき支部とみんなの党府第9支部が推薦した元同市議会議長の木本保平氏(67)が初当選した。

維新が公認したり推薦したりした首長選の候補者はこれまで、吹田市長選をはじめ、守口市長選、大阪府知事・大阪市長のダブル選挙と、府内で負けなしが続いている。次期衆院選で国政進出を狙う維新とみんなの党との

協力関係にも、弾みがつきそうだ。維新幹事長の松井一郎府知事は9日、茨木市長選の結果について「市民の皆さんには(維新が)約束したことをスピード感を持ってやっていることを評価していただいていた」と思っている。(当選後は)スピード感がなければ、逆にあつという間に支持は離れていく」と述べた。

維新は今回、「茨木市は当面、(大阪府市を再編統合する)大阪都構想

に「関係ない」として、代表の橋下徹大阪市長らの応援演説は行わず、支部での推薦とした。

当選した木本氏は「維新の風を感じながら戦ってきた。自分知名度も(は)維新の威力だと思

ないの、(当選できた)話している。

24.4.-9(日) 産 経



茨木市長選で当選し、万歳する木本保平氏(8日、大阪府茨木市)

てきた。自分知名度も(は)維新の威力だと思

ないの、(当選できた)話している。